

### 〔3〕 港で働く人びと

大阪港の広がりや役わりを知ったなおとさんたちは、次に、大阪港で働く人の仕事について調べることになりました。



#### ① 外国から入ってくる病気や害虫から日本を守る仕事

##### 検疫所

外国から病気が国内に入るのを防ぐため、港や空港では入国者に対して健康状態についての検査をしています。また外国へ旅行する人に、予防注射もしています。食品については農薬や添加物についてきびしい検査をしています。



船長に乗組員の健康状態の聞き取り調査をする



旅行者に予防注射をする



放射体温計(赤外線を使って皮ふにふれずに測定できる)を使った検査

##### 動物検疫所

いろいろな動物の病気が国内に入るのを防ぐため、外国から来た牛・馬・鳥類や羽毛などの検査をしています。海外で飼っていた犬やねこなどのペットを日本に連れて帰った時も検査をして、病気が入らないようにしています。また、ハム・ソーセージ、肉製品などの畜産物の検査もします。

検査の結果、病気や異常が見つかったものは、国内に入ることなく送り返したり焼却したりします。



オーストラリアから輸入された牛



肉の検査

##### 植物防疫所

大阪港には、いろいろな国からバナナ、オレンジ、タマネギ、ニンジン、カーネーション、菊、小麦などたくさんの植物が輸入されています。これらの輸入品について害虫や病気がないか検査をします。

それは植物につく外国の害虫や病気が日本に入らないようにするためです。

検査で害虫や病気が見つかった時は、国内に入れるために消毒をします。また生産国へ送り返すこともあります。



バナナの検査



海外からやってきた人の持ち物検査